

メッセージ

第92回大阪地方メーデーにあたり、立憲民主党大阪府連合会を代表して、働く仲間の皆さまに連帯のメッセージを送ります。

新型コロナウイルスの影響で今も厳しい暮らしや労働環境に置かれている多くの皆さまにお見舞いを申し上げます。また、大切なご家族やご友人、職場の仲間の命を奪われた皆さまに心よりお悔やみを申し上げます。

そして、緊急事態宣言が実施される中、感染拡大防止という観点から形式を変え、この意義あるメーデーを開催してくださった実行委員会の皆様の努力にあらためて敬意を表します。

ここ大阪では、深刻な感染拡大がやみません。変異株の急速な広がりによって感染者は連日1000人を超え、大阪の療養・入院態勢はいま危機的状況にあります。自宅療養者が1万人を超え、搬送先が見つからず救急車で47時間待機するケースまで発生しています。

同時に、雇用をめぐる状況も厳しさを増しています。解雇や雇止め、シフト減や時短などによって、多くの方々の雇用や収入が奪われ続け、賃金格差が拡大しています。エッセンシャルワーカーと呼ばれる方々は、ご自身が感染するリスクを背負いながら、社会の営みを止めないために職場を守ってくださっています。

立憲民主党は働く仲間の雇用とくらし、皆様やご家族・ご友人の命と健康を守るため、国会や地方議会の最前線で働く仲間の声を届けています。雇用調整助成金の特例や休業支援金・給付金の拡充や延長、失業手当の支給割合の引き上げと給付日数の延長などを繰り返し、政府に求めています。今後、雇用についての更なる対策の提案に向けて、働く仲間の皆さまとの協力をより深めて参ります。

私たち立憲民主党は「人間の命とくらしを守る、国民が主役の政党」として、働く皆さまとつながり、国民の期待に応えうる政権党となることを目指します。また、医療・介護・障がい福祉・保育・教育・放課後児童クラブなどの「ベーシックサービス」の拡充、持続可能な社会保障制度の確立によって、安心してくらせる社会を築いて参ります。昨年、皆さまと共有した「理念」に基づき、一人ひとりがつながり合い、互いに支え合う社会の実現に向けて取り組んで参ります。

最後に、皆さまの活動がさらに前進されることを祈念し、メーデーメッセージといたします。

2021年5月1日

立憲民主党大阪府総支部連合会
代表 辻元 清 美

